

吸収式冷凍機更新工事 仕様書

1 業務概要

- (1) 工事名 吸収式冷凍機更新工事
- (2) 工期 契約締結日の翌日から令和3年3月25日まで
- (3) 工事場所 名取市愛島塩手字野田山47-1
宮城県立がんセンター 研究棟

2 業務の目的

当センターの研究棟にある吸収式冷凍機が経年劣化で動作不能なため、更新工事を行うもの。

3 形状

現在の仕様及び更新機器の詳細は別紙のとおり。

4 納入品

- ① 納入品は、すべて新品を納入すること。
- ② 納入品の型式は、最新のものとする。
- ③ 宮城県内にメーカーのサービス拠点を有し、導入機器の障害、修理等に対して迅速に対応できるメーカー製品であること。
- ④ 吸収式冷凍機および中央監視装置一式が正常に動作すること。なお、正常に動作するとは、新設機器を据付後、試運転調整を行い、吸収式冷凍機および中央監視システムが仕様どおりに稼働する状態である。

5 材料置場

材料置場は、機械室内、機械室脇の屋外部分及びピロティーを使用すること。

6 落札後の打合せ及び工程表の提出

受注者は落札後速やかに、発注者の指示に従い発注者と仕様の細部について打合せ、機器の製作、搬入、据付、稼働調整及び動作確認等のスケジュール調整を行い、工程期間を明記した工程表を契約締結後10日以内に発注者へ提出し、発注者より承認を受けたのちに着手するものとする。

なお、機器設置に係る施行日程は、土曜日及び日曜日、祝祭日を含めて日程調整すること。

7 火気使用

火気の使用について、研究棟脇の屋外にて行うこと。使用3日前までに発注者の承認を受けること。やむを得ず屋内で行う必要がある場合は、発注者受注者協議を行い使用の可否を判断する。

8 作業時間

作業時間は、原則8：30～17：00までとする。

9 時間外作業

やむを得ずして作業が17時以降に及ぶ場合は、当日12時までに発注者の承認を受けるものとする。

10 災害予防等

災害予防について万全の対策を講じ、常に注意を怠らないようにするのはもちろん、突発事故が生じた場合は、速やかに発注者に報告するものとする。なお、災害・事故に伴う損害等は、全て受注者の負担とし発注者としての保証は一切行わないものとする。

また、新型コロナウイルス感染症対策については、国土交通省作成「建設業における新型コロナウイルス感染予防対策ガイドライン（最新版）」を参考に、最大限の感染予防対策を講じるとともに、当センターの担当者の指示を受け作業すること。

11 発生材

発生材は、発注者の指示する場所に整理集積し、受注者は関係法令等に従い、適切に処分すること。

12 完了検査

工事完了後に、発注者の検査を受け、不合格の場合には速やかに不備な箇所の手直しを行い、再検査を受けるものとする。

13 作業用電力及び水道の使用

作業用電力及び水道を必要とする場合は、利用を許可する。

14 成果物の提出

受注者は業務完了後、関係図書を作成し発注者に提出すること。関係図書については、別紙のとおりとする。

15 守秘義務

受注者及び受注者の従業員である者又はあった者は、本業務にあたり、発注者及び対象施設に関して知り得た情報を第三者に漏らしてはならない。契約の解除及び契約期間満了後においても同様とする。

16 その他

- ① 仕様書及び図面に記載されていない事項は、すべて国土交通省大臣官房官庁営繕部監修の「公共建築工事標準仕様書（機械設備工事編，最新版），公共建築改修工事標準仕様書（機械設備工事編，最新版）」，同部設備・環境課監修の「公共建築設備工事標準図（機械設備工事編，最新版）」，及び国土交通省大臣官房官庁営繕部監修の「機械設備工事管理指針（最新版）」による。
- ② 現場事務所を設ける場合は、施工 2 週間前に発注者から承認を受けたのちに設置すること。
- ③ 現場工事の表示看板の掲示を行うこと。（会社名，期間等が明示されているもの）
- ④ 仮設トイレを設置すること。
- ⑤ 工事用車輛の駐車場は、発注者から指定のあった場所に駐車すること。
- ⑥ 工具及び機械部品の紛失等がないよう，各日毎確認を行い業務終了すること。万が一紛失があった場合は，紛失品を見つけるまで帰社しないこと。
- ⑦ 更新工事に伴う既設配管等に工事が必要になる場合は，事前に現場確認を行い工事費に含めること。
- ⑧ 機器の搬出搬入時には，養生を行うこと。また，搬出口及び搬入口の対象となる経路，その他損害の恐れのある場所についても養生を行うこと。機器の搬出搬入時に，施設内を破損させた場合は，速やかに発注者に報告するとともに，受注者が負担し修繕を行うこと。
- ⑨ 仕様書にない疑義が生じた場合は，発注者受注者協議を行い決定する。

形状（現在の仕様及び更新機器の詳細）

		現状	更新機器可能範囲等	
冷水系	冷凍能力	1,360,800	1,360,800	kcal/h
	冷水流量	4,540	4,536～4,540	ℓ/min
	冷水入口温度	12	12	°C
	冷水出口温度	7	7	°C
	機内水頭損失	4.8	4.0～7.1	mH ₂ O
冷却水系	接続配管口径	200	200	A
	冷却水流量	7,500	7,228.9～7,500	ℓ/min
	冷却水入口温度	32	32	°C
	冷却水出口温度	37.5	37.3～37.5	°C
	機内水頭損失	9.8	5.5～9.8	mH ₂ O
熱源系	接続配管口径	250	250～300	A
	種類	飽和蒸気	飽和蒸気	
	熱源圧力	8	8	kg/cm ² G
	入口配管口径	80	80	A
	出口配管口径	40	25～50	A
電源	消費量	1,980	1,733～1,980	kg/h
	蒸気制御弁接続口径	50	40～50	A
	電圧	3Φ 200V 50Hz	3Φ 200V 50Hz	
	電流合計	35	60	Aまで
	電線太さ	8.0	8.0～14.0	mm ²
電動機定格出力	電源容量	14.7	9.4～18.3	KVA
	吸収式ポンプN O.1	4.0kw 19.0A	3.6kw 16.4A ～ 6.2kw 32A	
	吸収式ポンプN O.2	1.8kw 10.0A	1.1kw 6.4A ～ 3.0kw 15A	
	冷媒ポンプ	0.4kw 2.8A	0.2kw 2.4A ～ 4.0kw 3A	
	抽気ポンプ	0.2kw 1.3A	0.01kw 0.9A ～ 0.2kw 1.3A	
外形寸法	長さ	4,850	4,820～5,779	mm
	幅	2,250	1,975～2,627	mm
	高さ	2,650	2,403～2,900	mm
重量	運転重量	14.2	13.6～17.7	ton
	最大搬入重量	12.4	7.8～15.6	ton
	総搬入重量	12.4	11.9～15.6	ton
搬入寸法	縦	4,950	4,820～5,779	mm
	横	2,320	1,793～2,350	mm
	高さ	2,690	2,480～2,950	mm

『関係図書』 本工事終了後に下記の書類を提出すること。

名称	完成書類	部数	名称	完成書類	部数
1 完成調書	営繕工事完成引渡要領 (作成は、主たる工事請負者が他の工事および監督員の協力を得て取りまとめる。)	1 部	7 工事写真		
2 完成図			①工事施工写真	A4 版 チューブ式ファイル 工事施工写真は、履行写真(着手前写真と完了写真)並びに施工状況写真とで構成される。	1 部
①黒表紙金文字製本	A4 版 (4 機器完成図, 5 取扱説明書とまとめて1冊にしてもよいが、厚さ80mmを超える場合は分冊とする。)	1 部	②完成写真	A4 版 ペーパーファイル 完成届に添付	1 部
②白焼き二つ折り製本	A1 版またはA2 版の二つ折り	1 部	8 工事週報	A4 版 チューブ式ファイル	1 部
③白焼き二つ折り製本 (縮小)	A4 版 (A3 版二つ折り)	2 部	9 工事打ち合わせ 議事録	A4 版 チューブ式ファイル	1 部
④原図	三つ折りケース収納	1 部	10 工事に関する 承諾確認書	A4 版 チューブ式ファイル	1 式
⑤完成図書 電子データ	JWW又はDXF形式のCADデータ もしくはPDF形式	CD 2 枚	①施工計画書		
3 施工図			②施工要領書		
①白焼き二つ折り製本	A1版またはA2 版の二つ折り (施工図の枚数が少ない場合は、完成図の二つ折り製本と合本可)	1 部	③確認書・承諾書		
②原図	三つ折りケース収納	1 部	④協議書		
4 機器完成図	A4 版 黒表紙金文字製本 (2 完成図と合本可)	1 部	⑤安全に関する書類		
5 取扱説明書	A4 版 黒表紙金文字製本 (2 完成図と合本可)	1 部	⑥建設廃棄物 マニフェスト		
①保守に関する案内書			11 各種保証書	A4 版 チューブ式ファイル	1 部
②機器別取扱説明書			12 その他		1 部
③緊急連絡先一覧			①機器試験成績書		
6 管理の手引き	A4 版 チューブ式ファイル	1 部	・機材材質証明書		
①工事概要書			・機材検査試験報告書		
②機器完成図			・工場検査報告書		
③機器別取扱説明書			・工事立会検査報告書		
④保守に関する案内書			②現場試験成績書		
⑤緊急連絡先一覧			・工事別試験報告書		
			・総合運転および 試験報告書		

